2022年度の取組結果について

資料１

１　2022年度の取組結果

神奈川県石油コンビナート等防災計画の推進に向けて、2022年度の取組方針に基づき、以下の内容を実施した。

◆　特定事業所の予防対策の促進

◆　応急活動体制の強化に向けた訓練の充実

【2022年度の取組方針】

※2021年度神奈川県石油コンビナート等防災本部幹事会（2022年２月28日）において上記方針を決定

（１）特定事業所の予防対策の促進

特定事業所の予防対策を促進するため、次の①～③を実施。

1. 取組状況調査の実施

特定事業所における「予防対策取組状況」について、全77事業所を対象としたアンケート調査した。さらに、関係機関との合同立入調査において、追加聴取を実施した。（資料１－１、資料１－２及び参考資料２を参照）

1. 予防対策に関する周知及び情報提供

取組状況調査の結果について、防災管理者研修会等の場で紹介することで、周知及び情報提供をした。(2021年度分)

また、県民に対しても、取組状況調査結果を分かりやすく取りまとめ、　ホームページで公表した。(2021年度分)（資料１－２を参照）

1. 国への要望

全国石油コンビナート立地道府県協議会等により、国に対して提案書を　提出した。（参考資料４を参照）

（２）応急活動体制の強化に向けた訓練の充実

　 ① 情報受伝達訓練

石油コンビナート等特別防災区域での災害発生時に、特定事業所の被害状況を関係機関が迅速に把握・共有する体制を強化するため、ＦＡＸによる「情報受伝達訓練」を行った。訓練には全77事業所のうち75の特定事業所が参加した。

（2022年８月22日実施済）

　 ② 合同図上訓練

また、石油コンビナート等特別防災区域における災害発生直後の初動対応の習得・習熟 及び 関係各機関・事業所の連携を強化するため、「合同図上訓練」を行った。今年度はオープンシナリオ(横浜市・川崎市同時発災)での机上訓練を実施し、関係機関から計49人の参加があった。（2022年11月９日実施済）

以上